平成29年度事業報告について

会長 渡邊 博昭

平成29年度もこれまでの会務を遂行するとともに、12月17日に新潟テルサで開催いたしました第91回新潟県臨床検査学会では309名の方々に参加いただき、盛会裏のうちに無事終了いたしました。これもひとえに、会員の皆様からの応援と、ご協力のおかげと実務委員一同、感謝いたします。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点がありご迷惑をお掛けしたと思います。しか しながら無事に会務を遂行できたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと改めて感謝いたします。

総務部

- ① 平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。
- ② 表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

平成29年度の事業の概要を下記の通り報告する。

学術部

- ① 第91回新潟県臨床検査学会を開催した。
- ② 精度管理事業は、日臨技のシステムを使用して事業を行った。
- ③ 検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金に対して18研修会の申請を行った。

広報部

① 会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速 な対応を行った。 総務部 副会長 阿部 千尋

1. 通常総会の開催

平成29年5月27日(土)新潟東映ホテルにおいて平成29年度通常総会を開催し、平成28年度事業報告、同決 算報告、監査報告の説明があり承認された。また、平成29年度事業計画(案)、収支予算(案)を報告した。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成29年度は新役員による会務の執行にあたり、学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

1) 理事会 第1回 平成29年4月15日 (新潟ユニゾンプラザ小研修室4)

第2回 平成29年5月13日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第3回 平成29年5月27日 (新潟東映ホテル2Fホール)

第4回 平成29年6月17日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第5回 平成29年7月15日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第6回 平成29年10月21日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第7回 平成29年12月2日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第8回 平成30年1月13日 (プラーカ KENTO RoomB)

第9回 平成30年2月25日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

第10回 平成30年3月17日 (新潟県公社総合ビル3F会議室)

2) 常任理事会

定例常任理事会は隔月第2土曜日の開催を目標としていたが、平成29年度は2回の開催となった。

3) 三役会議

急な協議事項等についてはメール等を利用し協議を行い、特に三役会議は開催しなかった。

- 4) 各種委員会の開催
 - (1) 会誌編集委員会

新臨技会誌(季刊発行)第303号から第306号の編集業務のため、4回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への情報伝達手段としてホームページの充実と運用に努めた。

(3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため6回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため、メール等を利用し協議を行った。

4. 組織対策

1) 入会対策

会員数の多い年代が定年を迎え会員数の減少が懸念されるが、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めた。

本年度の新入会および再入会の会員数は68名。

本会の正会員総数は1.355名。(平成30年3月現在)

技師連盟入会者数は19名。(平成30年3月現在)

社会的地位向上および今後の業務拡大の為にも、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣 し、連携強化を図った。

- 5. 地域保健医療活動および公益事業
 - 1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画
 - 2) 佐渡糖尿病ウォークラリー2017に共催団体として参画(6月11日)
 - 3) 父の日企画「家族で守ろうパパの健康」へ中越支部が共催団体として参画(6月18日)
 - 4) 中越沖地震エコノミークラス症候群フォーローアップ検診に協力(柏崎市7月15・16日)
 - 5) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画(9月16・17日)
 - 6) ピンクリボンホリデー2017へ参画(10月8日)
 - 7) 第20回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が共催団体として参画(10月15日)
 - 8) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画(10月21日)
 - 9) 健康寿命延伸フォーラムへストレスチェックで協力(10月22日)
 - 10) 無料 HbA1c 測定会を実施(11月 3 日)
 - 11) 世界糖尿病デーin 長岡2017へ中越支部が参画(11月3日)
 - 12) 中越地震エコノミークラス症候群フォーローアップ検診に協力(十日町市11月4日)
 - 13) 糖尿病を知る集いへ血糖測定で協力(11月12日)
 - 14) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力(11月12日)
 - 15) 新潟市民を対象とした全国検査と健康展を開催(11月25日)
 - 16) 中越地震エコノミークラス症候群フォーローアップ検診に協力(小千谷市12月2日)
- 6. 求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

7. 災害関係

災害支援活動や会員の安否確認に威力を発揮する災害支援ネットワークに賛同と登録をお願いした。 登録者は90名(平成30年3月現在)となった。

- 8. 表彰関係(敬称略)
 - 1) 第35回篠川至賞(篠川至賞選考委員会を経て平成29年5月27日通常総会にて表彰)

学 術 部 門 大谷内 健 二 (新潟支部)

- 2) 平成29年度功労者表彰 (平成29年5月27日通常総会にて表彰)
- (1) 永年会員功労者表彰 該当者43名
- (2) 特別功労者表彰 該当者なし
- 3) 平成29年度生涯教育履修表彰 (平成29年5月27日通常総会にて表彰)

 獎
 励
 賞
 寺
 島
 健(JA新潟厚生連小千谷総合病院)
 420点

 小
 野
 篤
 史(済生会新潟第二病院)
 410点

林 真 也 (新潟県立がんセンター新潟病院) 370点

新 人 賞 小 林 健 太 (新潟県立がんセンター新潟病院) 320点

4) 第91回新潟県臨床検査学会テーマ賞(平成29年12月17日学会開会式にて表彰)

鈴 木 英 明 (北里大学保健衛生専門学院)

学術部

副会長 桑原 喜久男

平成29年度は新潟県臨床検査学会、検査研究部門活動、精度管理事業、生涯教育を中心に1年間活動を行った。平成30年度以降の新臨技事業につながる活動にも取り組んだ。

1. 学会 桑原 喜久男

平成29年12月17日(日)に新潟勤労者総合福祉センター 新潟テルサにおいて、第91回新潟県臨床検査学会を開催した。学会テーマは、「~えんでこう!~」として、一般演題33演題(内学生5演題)、特別企画3、パネルディスカッション1、教育講演3、ランチョンセミナー5が行われ、会員242名、賛助会員30名、学生37名、合計309名の参加をいただいた。学会テーマが意味する『みんなで一緒にいこう』に沿い、現在、日臨技が進めている事業を知る機会や、パネルディスカッションでは臨床検査技師を目指す学生が就職を前に不安な事を現場で働く技師から教えてもらえる機会を得た。学会を通じ、ベテランから若手技師まで臨床検査技師を取り巻く状況が変化する中、皆で一緒に歩んでいこう!と考えられる学会となった。県学会運営において、第91回より各支部での開催持ち回りを止め、会場を新潟市に固定し、実行委員長を支部長持ち回りとした。支部理事の人数に差があり、学会準備、運営においてご苦労をおかけしたが、実務は学術担当理事が行い、実行委員長の支部理事にもお手伝い願う事とした。また、第91回より学会参加費を1,000円から2,000円に値上げをし、学会運営を円滑に行う事ができた。

2. 検査研究部門 ______中村 岳史

平成29年度検査研究部門は、9部門3分野(生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門の9部門また、臨床生理部門は、神経生理分野、循環生理・呼吸生理分野、超音波分野の3分野)で組織構成され、部門構成員は各部門6名、各分野4名、活動費は各部門12万円、各分野8万円で運営された。

今年度、検査研究部門が開催した研修会は、合計21回であった(昨年度19回、一昨年度19回)。各部門分野別では、生物化学分析部門3回、臨床一般部門2回、臨床血液部門2回、臨床微生物部門1回、輸血細胞治療部門2回、病理細胞部門3回、染色体・遺伝子部門1回、臨床生理部門(神経生理分野1回、循環生理・呼吸生理分野1回、超音波分野3回)、臨床検査総合部門2回であった。研修会開催数は、昨年度より増加しており、これは知識や技術の習得に対する意識の高さの表れであると同時に各部門の努力によるものと思われた。

研修会の内容は、専門性の高い内容から初心者を対象とした基礎的内容のものまで幅広く企画されており、 全会員が参加しやすい内容であった。また、実技研修も積極的に開催されており、技術面での向上にも寄与で きた研修会内容であったと考えられた。

次年度も、引き続き会員の知識や技術の向上のため、様々な学術活動を企画・運営していきたい。

検査研究部門の研修会

7天.且.初了6.001		生	参加人数					
部門	開催日	生涯教育点数	会非会員		研修会内容			
生物化学分析	平成29年 専門3		25 0		【第35回日本臨床化学可会甲信越支部総会/第15回生物試料分析科学会甲信越支部総会】			
	7月8日(土) 7月9日(日)				会場: 鵜の浜ニューホテル *日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会および生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会と 共催			
	平成29年 9月9日(土)	専門20	21	学生(9名)	【オーソイムノアッセイセミナー】 1. 「イムノアッセイの基本原理」 2. 「イムノアッセイの基本原理」 3. 「ELISA とイムノクロマト実習」 4. 「HCV 検査を例にケーススタディ」 会場:北里大学保健衛生専門学院臨床検査技師養成科生物系実習室 *オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックスと共催			
	平成30年 2月3日 (土)	専門20	36	0	【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門/第48回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会合同研修会】 1.「腫瘍マーカー腫瘍以外の偽高値と各腫瘍マーカーの特性と注意点」 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社 萩原 貴裕			
					2. 「検診機関における腫瘍マーカー検査の精度保障の留意点」 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 久保野勝男 会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会と共催			
臨床一般	平成29年 12月10日(日)	専門20	27	1	【平成29年度臨床一般部門実技研修会】 1. 「基礎成分解説」 ①血球類			
					済生会新潟第二病院 小野 篤史 ②上皮細胞類			
					労働衛生医学協会新潟ウェルネス 計良 政裕			
					③円柱類 新潟大学医歯学総合病院 堀川 良則 2.「鏡検実習」 3.「質疑、事前質問事項への回答」			
					る。 会場:新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス			
	平成30年 3月31日(土)	専門20	41 申請中 (1名)、	3	【平成29年度新臨技臨床一般部門研修会】 1.「ファブリー病について」 日本医科大学附属病院 臨床検査部 小林 紘士			
			県のみ (1名)		2. 「寄生虫卵の鑑別とその周辺」			
			(141)		3.「尿検査から見た腎疾患」 新潟大学医歯学総合病院 細島 康宏			
臨床血液	平成30年 1月27日(土)	専門20	13	0	会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 【平成29年度臨床血液部門研修会】 [鑑別の必要な疾患の検討会]			
					東京大学医学部付属病院検査部 常名 政弘 会場:新潟大学医学部 第二講義室			
	平成30年 3月4日(日)	専門20	48	0	【平成29年度第2回臨床血液部門研修会】 1.「若手検査技師・夜間当直者に必要な凝固検査の基礎知識」 権水メディカル株式会社 須長 宏行			
					2.「順序良く考えて進める凝固検査」 長岡赤十字病院 山田 隆			
臨床微生物	平成30年 1月27日 (土)	専門20	24	2	会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 [平成29年度新臨技臨床微生物部門研修会] 1. 「日常的に遭遇する細菌の同定検査 ポイント解説 グラム陽性球菌編」 新潟県立中央病院 山本 絢子			
					2. 「日常的に遭遇する細菌の同定検査 ポイント解説 グラム陽性桿菌 グラム陰性桿菌、酵母様真菌編」 長岡赤十字病院 高野 美菜			
न्द्र यह तमार्थः वा यो	亚母90年	専用の	co.	0	会場:新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス			
輸血・細胞治療	平成29年 5月20日(土)	専門20	69 賛助会 員(3	0	【輸血細胞治療部門 春の初心者研修会】 1.「輸血検査・基礎の基礎」 輸血細胞治療部門 高橋 一哲			
			名)		2.「伝達講習・ケーススタディから基礎を学ぶ」 会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 県立加茂病院 見辺 典子			
	平成29年 7月9日(日)	専門20	53 賛助会 員(2 名)	0	【平成29年度輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会】 <基礎コース> 血液型、不規則抗体検査を実施し、凝集の見方、試験管の振り方等、初歩的な技術・考え方 の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者、初級レベルの方が対 象			
					〈認定および技能維持コース〉 血液型、不規則抗体検査、抗体解離試験等を実施し、総合的に輸血検査の理解を深めます。 専門に輸血検査をやられている方や、ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の 方が対象 会場:新潟医療福祉大学 第6研究棟			

病理細胞	平成29年 7月22日 (土)	専門20	38	7 学生	【第39回新潟病理技術研究会(病理細胞部門共催)】 1. 「病理検査室の環境整備に必要な知識と最近の法改正」	4 /II I	n AT ala
				(1名)	トルネックス株式会社 2.「病理検査室のホルマリンガス対策と廃棄方法」 新潟大学医歯学総合病院		
					立川総合病院	佐藤	信
					新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *新潟支部病理検査研究班と共催	徳永	直樹
	平成29年	専門20	54	12	【平成29年度病理細胞部門研修会】		
	11月5日(日)			学生 (1名)	1.「甲状腺細胞診の現状と病理診断」 医療法人 神甲会隈病院 病理診断科	廣川	満良
					2.「甲状腺細胞診のミカタ」 医療法人 神甲会隈病院 臨床検査科	鈴木	彩菜
					3. 鏡検実習		
					会場:新潟大学医学部 第4講義室 *新潟県細胞検査士会、新潟支部病理検査研究班、日本ベクトン・ディッキン! と共催	ノン株式	代会社
	平成30年 3月3日 (土)	基礎20	26	3	【平成29年度病理細胞部門研修会(第2回)】 1. 「病理検査室の医療安全」 インシデント事例とその対策		
					JA 新潟厚生連新潟医療センター 新潟県立がんセンター新潟病院	北澤	綾
					信楽園病院 新潟大学医歯学総合病院		
					2. 「病理支援システムを活用したインシデント対策」 株式会社富士テクノサブライ		香
					3.「医療安全のススメ」	豆局	Ħ
					新潟県立がんセンター新潟病院 会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *新潟支部病理技術研究会と共催	木下	律子
染色体・遺伝子	平成29年	専門20	29	0	【平成29年度染色体·遺伝子部門研修会】		
	10月7日(土)				1.「EGFR 遺伝子検査のご紹介とトピックス」 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	点極	主R 田田
					2. 「広がる遺伝子検査 – 診断利用から予防、体質、性格分析利用」		
					ジェネシスヘルスケア株式会社 3.「FISH 法:研究と診断の現場化から」	學	亘
					公益財団法人 がん研究会がん研究所 4.「日本人のからだ」	馬場	響子
					帝京科学大学 医療科学部	高田	雄三
					5.「全自動遺伝子解析装置 ミュータスワコーg 1 和光純薬工業株式会社	荒井	由美
臨床生理	地 奴开珊	専門20	21	2	会場:新潟大学医学部 第4講義室 【平成29年度 神経生理検査セミナー】		
端床生理	神経生理分野平成29年	専门20	21	2	1. 「新しい固縮、痙縮指標 筋トーヌス筋電計について」		
	10月21日 (土)				株式会社メディカルニクス 2. 「基礎講座 有用な検査結果を得るために」	中村	慶
					「症例提示」 「デモ CTS の検査(2L-INT 法、環指比較法、母指比較法)」		
					帝京大学医学部付属病院 中央検査部	星野	哲
	循環・呼吸生理	専門20	85	6	会場:新潟大学医学部 第4講義室 【生理検査基礎セミナー】		
	分野				1. 「レクチャー」	3. 165 ∀	ь а ш
	平成29年 6月24日(土)				① 呼吸機能検査 済生会三条病院 ② 心電図 魚沼市立小出病院		
					③血液データの読み方 魚沼基幹病院	坂西	清
					2.「心臓外科と心エコー」 新潟市民病院 心臓血管外科副部長	若林	貴志
	donate at as as	ata mercici			会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室		
	超音波分野 平成29年 8月20日(日)	専門20	22	5	【平成29年度超音波検査上対策セミナー】 「超音波検査に必要な物理学的基礎知識」 GE ヘルスケアジャパン株式会社	山本	幸弘
	却立み八四	車用の	F0		会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室		
	超音波分野 平成29年	専門20	52	2	【平成29年度超音波実技セミナー】 セミナー内容		
	8月26日 (土)				・心臓超音波 JA 新潟厚生連長岡中央綜合病院 JA 新潟厚生連新潟医療センター		佳奈 圭
					腹部超音波		
					JA 新潟厚生連小千谷総合病院 新潟県労働衛生医学協会新潟健康増進センター		健 佳美
					血管超音波 新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院	瀧澤	瑠美
					新潟会場:新潟大学医歯学総合病院西病棟 3階 第6検討会室 長岡会場:長岡赤十字病院 第1会議室		

	超音波分野 平成29年	専門20	70	1	【心エコーセミナー】 1.「心エコー検査を始める前に確認すべきこと」		
	11月4日 (土)				済生会三条病院	桑原喜久男	
					2.「心エコーの正確性・信頼性を高める」		
					新潟大学医歯学総合病院	小杯	紘子
					3.「心エコー ウォールモーショントラッキングに関する基礎講座」 東芝メディカルシステムズ株式会社	HE ST	els áli
					************************************	州江	居民 123
					帝京大学ちば総合医療センター	木村	曹
					5. 「大動脈弁逆流と弁形成」		32
					心臟血管研究所附属病院	種村	Œ
					6.「症例検討会」		
					会場:新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室		
臨床検査総合	平成29年	基礎20	18	0	【臨床検査総合部門管理運営研修会】		
	9月18日(祝日)				1.「ISO15189が求めるもの 臨床検査室認定の意義」		
					新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科	久保里	抒勝男
					2.「2025年モデルに向けた病院機能の再編と臨床検査科の対応」	1e 1	t. 1077
					シーメンスヘルスケア株式会社	松尾	久昭
	T. Dan te	-te mr.o.o			会場:長岡中央病院 2階 講堂		
	平成29年	専門20	40	8	【平成29年度臨床検査総合部門(公衆衛生)研修会】		
	11月18日 (土)				1.「微生物同定の基本 生化学手法から質量分析計まで」 シスメックスビオメリュー株式会社	BH C	ata ata
					2.「薬剤耐性菌の疫学と検査法	判口	辛思
					2. 「柴州町住困の投子に快重伝」 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター第一室	松丑	古押
				I	会場:コープシティ花園「ガレッソ 4F 会議室	14/1	24×E

3. 精度管理事業 坂西 清

本年度も新潟県から新潟県医師会への委託事業である平成29年度(第38回)新潟県臨床検査精度管理調査会を行った。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計6回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

微生物検査は技師会が担当する一般菌1菌種の感受性と、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。

臨床化学は昨年同様27項目を実施した。調査試料は低濃度域に自家製ヒトプール血清を用い、高濃度域には 市販管理試料を用いた。評価基準は(一社)日本臨床衛生検査技師会精度管理調査に準じた。

本年度も酵素項目は ReCCS 標準物質を用い、JSCC 常用基準法にトレーサブルである JSCC SOP 法で目標値を設定した。しかし、本法測定値と報告平均値に差が見られた項目があった。この項目については基幹施設報告平均値を目標値とした。濃度項目は基幹施設に依頼して、ReCCS 標準物質を用いた日常検査法で目標値を設定した。クロール (CI) については、ReCCS 標準物質がドライアイスの影響を受けることが判明したため、基幹施設報告平均値を目標値とした。また、HDL コレステロール、LDL コレステロールは今回の調査に用いた試料において測定方法(測定試薬)により値が異なるため、できるだけ多くの測定方法(測定試薬)に目標値を設定したいと考えメーカーの報告値を目標値とした。HbA1c は本年度より日本赤十字社全血検体を用いたが、測定方法(測定試薬)により反応性が異なるためメーカー報告値を用いて測定方法毎に目標値を設定した。ドライケミストリー法はナトリウム(Na)、カリウム(K)、クロール(CI)はドライケミストリー法以外の方法と同様の評価基準としたが、それ以外の評価項目はマトリックスの影響を受けやすいため、評価 Bを1.5倍(目標値±7.5%)に広げた。

集計に用いた精度管理用システム(JAMTQC)は5施設未満の集団の統計処理、および目標値の設定が不可能である。そのため、方法別および試薬別に目標値を設定した項目で5施設未満の場合は評価を「施設別報告書」に反映させることが不可能であることから「対象外」の表記になる。ご不便をおかけすることをお詫びするとともに、目標値を参考に自施設の正確度の判断をお願いしたい。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に、日本臨床衛生検査技師会の精度管理システムを使用しての Web 報告を実施し、特に問題なく報告作業は行われたが、まだ不備がある事から、日臨技との連携を密にして改善

していきたい。

精度管理調査事業の内容は以下のとおりである。

- 1. 試料の到着 臨床化学は平成29年10月30日(月)に到着予定です。
- 2. 測定日 サンプル到着後、可能な範囲で速やかに実施してください。
- 3. 測定項目
 - 1) 臨床化学 ※生化学試料:冷凍試料 · HbA1c 試料:冷凍試料

グルコース(Glu)、ヘモグロビン A1c(HbA1c)、総ビリルビン(TB)、ナトリウム(Na)、カリウム(K)、クロール(Cl)、カルシウム(Ca)、無機リン(IP)、鉄(Fe)、マグネシウム(Mg)、総蛋白(TP)、アルブミン(Alb)、C 反応性蛋白(CRP)、尿酸(UA)、尿素窒素(UN)、クレアチニン(Cre)、総コレステロール(TC)、中性脂肪(TG)、HDL- コレステロール(HDLC)、LDL- コレステロール(LDLC)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)、アルカリフォスファターゼ(ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)、アミラーゼ(AMY)、クレアチンキナーゼ(CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)、コリンエステラーゼ(ChE)の28項目。

ドライケミストリー法は本年度も無機リン(IP)、総ビリルビン(TB)を実施しますが、参加は選択可能とします。また、LDL-コレステロール(LDLC)は実施しません。

2) 血液 ※血液試料:冷蔵試料

CBC 6 項目(ヘモグロビン濃度、血小板数、白血球数、赤血球数、ヘマトクリット値、平均赤血球容積)

4. 測定方法

各施設で使用している試薬、機器を用いて測定してください。

<u>測定回数はルーチン検査と同様、「1回測定」の測定値をご報告ください。また、他施設の情報を得る</u>ことは禁止します。

- 5. サンプル及び取り扱い
 - 1) 臨床化学

※ドライケミストリー法は専用のサンプル13、14を測定してください。

試料	測定項目	取扱い上の注意
11	グルコース (Glu)、総ピリルピン (TB)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチ	さい。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測 定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてあ
12	こン(Cre)、総コレステロール(TC)、中性脂肪(TG)、HDLコレステロール(HDLC)、LDL-コレステロール(LDLC)、アスバラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)、アルカリフォスファターゼ(ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)、アミラーゼ(AMY)、クレアチンキナーゼ(CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)、コリンエステラーゼ(ChE)	全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してく
13 (DRY I) 14 (DRY II) ※ドライケミストリー法専用	グルコース(Glu)、ナトリウム(Na)、カリウム(K)、クロール(Cl)、カルシウム(Ca)、鉄(Fe)、マグネシウム(Mg)、総蛋白(TP)、アルンフミン(Alb)、 C 反応性蛋白(CRP)、尿酸(UA)、	さい。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測
17	ヘモグロビン Alc (HbAlc)	ヒト血液です。 通常の検体と同様に測定してください。感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。また、サンブル到着後は冷蔵保存し、できるだけ速やかに測定してください。

2) 血液

試料	測定項目	取扱い上の注意
41	ヘモグロビン濃度、 血小板数、 白血球数、 赤血球数、 ヘマトクリット値、 平均赤血球容積	市販管理血球です。サンブル到着後は冷蔵保存してください。 (凍結厳禁)。 感染性の完全な否定はできませんので、取り扱いには十分注意してください。 [装置の測定条件] (1) マニュアルとクローズドの測定モードがある場合、マニュアルモードで測定してください。 (2) 患者検体を測定するモードで測定してください。 (3) CBC のみ (自血球分画等なし) のモードで測定をお願いします。CBC のみにできない機種はそのまま測定してください。 (3) CBC のみ (自血球分画等なし) のモードで測定をお願いします。CBC のみにできない機種はそのまま測定してください。 なお、赤芽球等を白血球から除外する機能を有する機種の場合、除外前の白血球数で報告してください。 (4) ヘモゲロビン測定において、シアンを用いるか用いないかの方法選択ができる機種については、通常業務で用いている方法で行ってください。 (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7

- 6. 成績報告締切:平成29年11月6日(月)
- 7. 報告 (臨床化学・血液)

日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会の HP より JAMT QC に入っていただき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。

- 8. 参加費 昨年までと同様に無料です。
- 9. 目標値と評価基準について
 - 1) 臨床化学

グルコース (Glu)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、クロール (Cl)、カルシウム (Ca)、尿酸 (UA)、尿素窒素 (UN)、クレアチニン (Cre)、総コレステロール (TC)、中性脂肪 (TG)、HDL-コレステロール (HDLC)、LDL-コレステロール (LDLC)、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)、アルカリフォスファターゼ (ALP)、乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)、アミラーゼ (AMY)、クレアチンキナーゼ (CK)、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)、コリンエステラーゼ (ChE)、ヘモグロビン A1c (HbA1c) は次頁の表の標準物質及び測定方法で目標値を設定し、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準に準じて評価を行います。HDL-コレステロール (HDLC)、LDL-コレステロール (LDLC) は測定試薬別に評価を行います。ドライケミストリー法も同様に評価を行います。日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準を以下に示します。ただし、反応性等に問題が確認された場合、変更する場合があります。総ビリルビン (TB)、無機リン (IP)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、総蛋白 (TP)、アルブミン (Alb)、C 反応性蛋白 (CRP) は評価せず、単純集計のみを実施します。

【日本臨床衛生検査技師会臨床化学部門評価基準】

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対して以下に示す評価幅を加え評価基準とする。 評価 A:「基準」を満たし、優れている

目標値 \pm 生理的変動を基に算出した施設間の許容誤差限界(analytical bias, B_A) $^{*1)}$ 内の報告値。健常人の生理的変動幅から算出され、項目によっては大きな数値となっているため、上限を 5 %に設定した。

*1) B_A:日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会:生理的変動に基づいた臨床化学検査36項目に おける測定の許容誤差限界、臨床化学2006;35:144-153

評価 B: 「基準 | を満たしている

目標値±体外診の性能確認幅*2)内の報告値。但し、現状の収束状況を考慮し上限を5%と設定した。

*2) 体外診の性能確認幅:平成9年の医薬発139号の厚生省医薬安全局長通知(体外診断用医薬品の取扱い について)、医薬審第181号の医薬安全局長管理課長通知、厚生省医薬安全局審査 管理課事務連絡(体外診断医薬品の申請の際の性能の確認について)、等の許容

測定変動係数(範囲)に準じた

評価 C: 「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価Bの幅を超え、この幅の最大1.5倍までの報告値。

評価 D: 「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価Cの幅を超えた報告値。

臨床化学目標値設定方法と評価基準

項目	単位	標準物質	測定方法	評価基準
グルコース (Glu)	mg/dL		ヘキソキナーゼ法、電極法	目標値±2.3%
ナトリウム (Na)	mEq/L		電極法	目標値 ± 2 mEq/L
カリウム (K)	mEq/L		電極法	目標値±0.15mEq/L
クロール (Cl)	mEq/L		電極法	目標値±2mEq/L
カルシウム (Ca)	mg/dL		各種測定方法	目標値±1%
尿酸 (UA)	mg/dL	ReCCS	ウリカーゼ・POD 法	目標値±5%
尿素窒素 (UN)	mg/dL	標準品	アンモニア消去法	目標値 ± 5%
クレアチニン (Cre)	mg/dL		酵素法	目標値 ± 5%
総コレステロール (TC)	mg/dL		酵素法	目標値±4.5%
中性脂肪 (TG)	mg/dL		酵素法(FG 消去)	目標値 ± 5%
HDL-コレステロール (HDLC)	mg/dL		各社直接法	目標値 ± 5%
LDL-コレステロール (LDLC)	mg/dL		各社直接法	目標値 ± 5%
アスパラギン酸アミノトランスフェ ラーゼ(AST)	U/L	-	JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±5%
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	U/L		JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±5%
アルカリフォスファターゼ (ALP)	U/L	ICCLS	JSCC(JCCLS)自動化法	目標値 ± 5 %
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	U/L	CRM001	JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±3.9%
アミラーゼ (AMY)	U/L		JSCC(JCCLS)自動化法	目標値 ± 5 %
クレアチンキナーゼ (CK)	U/L		JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±5%
γ - グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)	U/L		JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±5%
コリンエステラーゼ (ChE)	U/L	JCCLS CRM002	JSCC(JCCLS)自動化法	目標値±4.7%
ヘモグロビン Alc (HbAlc)	%	JCCRM411	HPLC 法	目標値±5%

2) 血液

ヘモグロビン・血小板数・白血球数・赤血球数について、各メーカー製キャリブレーターにより校 正が行われた装置で、測定の協力が得られた機種について、その値を目標値に設定し、機種別に評価 基準に添って該当機種のサンプルについて評価を行います。

ヘモグロビン・白血球数・赤血球数について、評価基準は臨床的許容限界 JCCLS, 1994を基に設定しました。血小板数については、試料の目標値が基準値下限付近であることから、他県の精度管理の状況を参考に設定しました。

ヘマトクリット、平均赤血球容積は評価せず、単純集計のみ実施します。

血液検査 評価基準

項目	単位	目標值設定装置	評価基準
ヘモグロビン	g/dL	ICSH CLSI の推奨する国際標準法にトレー	目標值±3.6%
血小板数	$\times 10^9/L$	サビリティが確保された各メーカーキャリブ レーターにより校正された装置	目標値±10.0%
白血球数	$\times 10^9/L$		目標値±5.6%
赤血球数	$\times 10^{12}/L$		目標値±4.1%

- 3) 一般フォトサーベイ
 - 1 一般検査フォトサーベイを実施します。設問数は16設問、評価対象は設問 $1 \sim 12$ です。 アンケートにもご協力ください。
 - 2 問題について

平成29年10月30日(月)から、「日臨技精度管理調査システム」より閲覧・ダウンロードが可能です。

- 3 回答締切:平成29年11月6日(月)23:59
- 4 回答方法

日臨技精度管理調査システムより、下記の要領で「平成29年度新臨技一般フォトサーベイ手引書」をダウンロードし、よく読んで回答してください。手引書には、設問集と、フォト集が入っています。

5 注意事項

可能な限り鑑別しやすい写真を選定していますが、プリントアウトする場合は印刷機の性能により判別が難しくなることがあります。必ず一度はダウンロードした PDF ファイルを PC モニター上で確認してください。

6 評価方法

「臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法における日臨技指針」に則り、評価を行います。

- 4) 微生物(薬剤感受性) 精度管理調査実施要項
 - 1 検査開始日 試料を受取り次第、検査を開始してください。
 - 2 検査項目 試料中に含まれる病原細菌のオキサシリン (MPIPC)、セフォキシチン (CFX)、イミペネム (IPM) 3 薬剤について薬剤感受性検査を実施し、日常的に臨床へ行う最終報告を入力してください。
 - 3 検査方法 各施設で日常的に行っている方法で実施してください。
 - 4 試料 試料 C (Staphylococcus aureus) を用いて実施してください。
 - 5 試料の取扱い 試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれて いますので、取扱いには十分注意してください。
 - 6 試料の調整 試料 C はカジトン培地にて保存してあります。
 - ※一旦、ハートインフュジョンブイヨン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を釣菌 してください。
 - 7 報告期限 平成29年11月17日 (金) 締め切り
 - 8 報告方法 結果報告は WEB 報告とします。

4. 生涯教育 近藤 善仁

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。一昨年より稼働した新しい日臨技情報総合システム(JAMTIS)の操作にも慣れ、役員改正の年ではあったが、スムーズに処理を実行できた。また、日臨技より支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額は、16研修会・計638,500円(3月9日現在予定)を受け取ることができたが、一部申請不備や申請時期の都合により、不採用研修会があった。

|広報部 副会長 坂西 清 |

今年度も、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけ、情報発信手段として安定した運営を目指し活動を行ってきた。新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。ホームページにおいては、規律ある運営の中、会員に有用な情報をできるだけ掲載することに努めて来た。会

誌に関しては、学会参加報告では、初めての演題発表者に焦点をあてるなどの企画も実施するなど、親しみや すい内容から、学術的な内容まで幅広い内容の会誌発行を務めてきた。

1)新臨技会誌 神林 真弓

[講義・研究] は基礎的内容と話題性を中心に力を入れてきた。

[研修会報告] は参加会員の協力を得て研修会を身近に感じ、参加できなかった会員の方にも講義内容をお 伝えできる頁とした。

「認定技師制度紹介」は臨床検査技師に関わる様々な認定資格を紹介し、スキルアップに繋がる情報提供を した。

[ペンリレー] [新入会員紹介] [検査技師として~私の奮闘記~] の掲載は誰でも参加でき、かつ会員同士 の繋がりを深める内容となった。

〔公益活動参加報告〕は公益活動を通して一般の方に臨床検査技師を知っていただく良い機会でもあり、多 くの会員に参加していただけるような情報ツールとした。

〔施設紹介〕は病院から学校まで職種を問わず臨床検査技師の免許を生かせる職場の紹介をし、施設情報の 共有を図った。

また、掲載は来年度からになるが、新しい試みとして「学会参加報告」と題し、始めて学会発表した会員に 感想を含め報告書を執筆していただく企画を設けた。

年 4 回 季刊発行 (303号から306号まで)

〈平成29年度会誌掲載内容〉

303号 平成29年4月1日

「講 義〕乳房超音波検査における基礎理論と臨床応用 小柳 敬子

「研

新潟県における多剤耐性緑膿菌, 多剤耐性アシネトバクター,

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分離状況

菅原 芳秋

High resolution melting analysis による大腸がんの RAS 遺伝子変異検査

林 真也

渡邊 愛深

末永 有香

若林もえこ

〔お知らせ〕第91回新潟県臨床検査学会案内(予告)メインテーマ募集のお知らせ

平成28年度第3回新臨技臨床一般部門新潟支部一般検査研究班合同研修会に参加して

[研修会参加報告]

臨床血液部門研修会に参加して 笠井恵美子 平成28年度新潟県臨床検査技師会染色体・遺伝子研修会参加報告 椎谷 恵子 平成28年度下越支部第2回研修会報告 功 髙口 佐渡支部研修会に参加して 姥沢 里香 [施設紹介] 医療法人 立川メディカルセンター 立川綜合病院 水沢 直人 〔認定技師制度紹介〕 認定心電検査技師について

「ペンリレー)

〔検査技師として~私の奮闘記~〕 検査技師として~私の奮闘記~ 大澤 まみ 検査技師として~私の奮闘記~ 関 俊輔 検査技師として~私の奮闘記~ 五十嵐菜美 検査技師そして親として~私の奮闘記~ 奈良 真美 検査技師として~私の奮闘記~ 田中 由香

検査技師として~私の奮闘記~ 坂下 康央 検査技師として~私の奮闘記~ 長谷川一稀 〔会報〕 平成29年度通常総会議案書 平成28年度第8回理事会議事録 平成28年度第9回理事会議事録 平成28年度第10回理事会議事録 〈一社〉新潟県臨床検査技師会篠川至賞受賞者一覧 新入会員紹介 新臨技会日誌 [行事予定] 304号 平成29年7月1日 「あいさつ」会長就任のあいさつ 渡邊 博昭 「施設紹介」新潟聖籠病院 宮澤 晴美 [受賞者のことば] 篠川至賞を受賞して 大谷内健二 小林 健太 生涯教育新人賞を受賞して 〔案 内〕第91回新潟県臨床検査学会案内 [研修会参加報告] 下越支部研修会に参加して 高田祐紀子 上越支部研修会に参加して 小淵あすか 新潟支部研修会に参加して 細谷麻里子 仲村 友絵 佐渡支部研修会に参加して 神経生理検査セミナーに参加して 五十嵐孝子 臨床微生物部門研修会に参加して 千味 和宏 [認定技師制度紹介] 認定血液検査技師について 鈴木 秀幸 [ペンリレー] 山本 成美 「検査技師として~私の奮闘記~〕 検査技師として~私の奮闘記~ 阿部 望 検査技師として~私の奮闘記~ 高橋 直也 検査技師として~私の奮闘記~ 1年を振り返って 坂内 政紀 検査技師として~私の奮闘記~ 上野 莉奈 検査技師として~私の奮闘記~ 井沢 陽平 検査技師として~私の奮闘記~ 古井 妙子 [会報] 平成28年度 第11回理事会議事録 平成29年度 第1回理事会議事録 平成29年度 第2回理事会議事録 28年度 監查報告書 28年度 公益目的支出計画実施報告書 平成29年度第1回通常総会からアンケート回答

新入会員紹介 新臨技会日誌

〔研修会参加報告〕

臨床検査総合部門 管理運営研修会に参加して

〔行事予定〕 〔編集後記〕

(柳本)久山)		
305号 平成29年10月1日		
〔講 義〕血液ガスデータの読み方	横山	稔
梅毒の最近の流行と知っておきたい基礎知識	須長	宏行
〔案 内〕第91回新潟県臨床検査学会		
〔研修会参加報告〕		
下越支部研修会に参加して	安達	俊幸
新潟支部研修会に参加して	宮路	渚
新潟支部臨床化学研修会に参加して	鶴間	純
新潟病理技術研修会に参加して	宮下	真平
生理検査基礎セミナーに参加して	星	佳織
輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会に参加して	加藤	瑞希
輸血細胞治療部門 春の初心者研修会	高橋	周汰
〔弔 辞〕栗原貞次郎氏を偲んで	小林	元康
〔認定技師制度紹介〕超音波検査士について	井塚	翔
(ペンリレー)	小熊	望
〔検査技師として〜私の奮闘記〜〕		
検査技師として〜私の奮闘記〜	鈴木	友紀
検査技師として〜私の奮闘記〜	野澤	昂朗
検査技師として〜私の奮闘記〜	山本	成美
検査技師として〜私の奮闘記〜	高橋	彩佳
検査技師として〜私の奮闘記〜	丸山	茜
検査技師として〜私の奮闘記〜	白井	里奈
検査技師として〜私の奮闘記〜	大坂	知代
〔会 報〕		
平成29年度 第3回理事会議事録		
平成29年度 第4回理事会議事録		
平成29年度 第5回理事会議事録		
新入会員紹介		
新臨技会日誌		
〔行事予定〕		
306号 平成30年1月1日		
〔あいさつ〕年頭のご挨拶	渡邊	博昭
〔講 義〕SOP を作成する意義	角山	功
イムノアッセイの基礎と留意点	木次	克彦

石塚 浩章

平成29年度染色体・遺伝子部門研修会に参加して 柳田絵美衣 平成29年度超音波実技セミナーに参加して 披田野翔平 平成29年度神経生理検査セミナーに参加して 島岡 愛 平成29年度超音波検査士対策セミナーに参加して 宮崎 勝吉 臨床生理部門超音波分野研修会心エコーセミナーに参加して 菅谷 望 [公益活動参加報告] ピンクリボンホリデー2017 in 長岡に参加して 関 俊輔 中川 智 新潟市民健康福祉まつりに参加して 第31回糖尿病を知る集いに参加して 桑原いみ子 無料 HbA1c 測定会に参加して 神林 真弓 平成29年度全国「検査と健康展」 参加報告書 佐藤 卓 すこやか・ともしびまつり2017に参加して 草間 孝行 [施設紹介] 学校法人 新潟科学技術学園 新潟医療技術専門学校 湯本 正洋 [認定技師制度紹介] ICMT(感染制御認定臨床微生物検査技師)の紹介および体験談やアドバイス 高野 美菜 「ペンリレー」 澤渡 哲也 「検査技師として~私の奮闘記~〕 検査技師として~私の奮闘記~ 本間 光 検査技師として~私の奮闘記~ 宮沢 愛彩 上野 検査技師として~私の奮闘記~ 唯 検査技師として~私の奮闘記~ 加藤 史帆 三浦 千佳 私の奮闘記 私の奮闘記 小林 裕真 平野 綾佳 私の奮闘記 検査技師として~私の奮闘記~ 小田 彩那 検査技師として~私の奮闘記~ 川村 梨紗 [会報] 理事会議事録 お詫びと訂正 新入職員紹介 新臨技会日誌 〔行事予定〕

2) 新臨技ニュース

佐藤 卓

理事会議事要旨、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性・実用性のある情報を掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を考慮し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月1回とした。

3) 新臨技ホームページ

近藤 善仁

新臨日ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動がリアルタイムに閲覧でき好評である。日臨技からのお知らせやその他関連団体の情報および近隣技師会からの掲載も柔軟に対応した。精度管理事業の施設別報告値一覧は昨年同様 Web 上にて公開した。

【主要行動報告】

- 1. 平成29年3月30日 会誌編集委員会開催
- 2. 平成29年4月6日 新潟医療技術専門学校入学式へ 桑原副会長出席
- 3. 平成29年4月6日 北里大学保健衛生専門学院入学式へ 坂西副会長出席
- 4. 平成29年4月15日 第1回学術部門会議開催
- 5. 平成29年4月15日 第1回理事会
- 6. 平成29年4月16日 日臨技 H29年度第1回災害対策ワーキンググループへ 坂西副会長出席
- 7. 平成29年4月29日 日臨技 H29年度第1回出版ワーキンググループへ 坂西副会長出席
- 8. 平成29年5月11日 第1回表彰委員会
- 9. 平成29年5月13日 第2回理事会
- 10. 平成29年5月13日 第35回篠川至賞選考委員会 渡邊会長、吉原副会長、坂西副会長、桑原副会長、小柳事務局長出席
- 11. 平成29年5月17日 法人化記念事業の打合せへ 吉原副会長、小柳事務局長出席
- 12. 平成29年5月17日 平成28年度検査技師会監査
- 13. 平成29年5月19日 平成29年度新潟栄養・食生活学会第1回役員会へ 渡邊会長出席
- 14. 平成29年5月27日 総会および法人化記念事業
- 15. 平成29年5月27日 第3回理事会
- 16. 平成29年5月29日 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ 桑原副会長出席
- 17. 平成29年6月10日 北日本支部幹事会(北海道)へ 渡邊会長出席
- 18. 平成29年6月17日 新潟医療技術専門学校新校舎竣工式へ 渡邊会長出席
- 19. 平成29年6月17日 第4回理事会
- 20. 平成29年6月17日~18日 日臨技出版 WG(千葉県)へ 坂西副会長出席
- 21. 平成29年6月23日 日臨技創立65周年・法人化55周年記念式典(東京都)へ 渡邊会長出席
- 22. 平成29年6月24日 新潟県細胞検査士定期総会・研修会へ 渡邊会長出席
- 23. 平成29年6月27日 新潟県健康づくり財団第15回定時評議員会へ 渡邊会長出席
- 24. 平成29年6月29日 第1回会誌編集委員会開催
- 25. 平成29年7月7日 平成29年度東北臨床検査技師代表者会議(秋田県)へ 渡邊会長出席
- 26. 平成29年7月10日 第9回新潟県救急搬送・受入協議会へ 渡辺前理事出席
- 27. 平成29年7月15日 第5回理事会
- 28. 平成29年7月16日 栗原名誉会員のお通夜へ 桑原副会長、草間理事、吉原監事参列
- 29. 平成29年7月17日 栗原名誉会員の告別式へ 吉原監事参列
- 30. 平成29年7月25日 第1回精度管理委員会
- 31. 平成29年8月16日 全国検査と健康展の打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事出席
- 32. 平成29年8月19日 日臨技災害対策 WG へ 坂西副会長出席
- 33. 平成29年8月22日 健康寿命延伸フォーラムに関する打合せ会へ 桑原副会長出席
- 34. 平成29年8月29日 ピンクリボン打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事、五十嵐理事出席
- 35. 平成29年9月9日 中越支部創立60周年記念式典へ 渡邊会長出席
- 36. 平成29年9月10日 日臨技出版 WGへ 坂西副会長出席
- 37. 平成29年9月23日 9月常任理事会
- 38. 平成29年10月3日 樋口名誉会員のお通夜へ 渡邊会長参列
- 39. 平成29年10月4日 第2回会誌編集員会開催
- 40. 平成29年10月8日 ピンクリボンホリデーにブース出展

- 41. 平成29年10月10日 糖尿病関連イベント打合せへ 佐藤事務局次長、畔上理事出席
- 42. 平成29年10月13日 北日本支部幹事会(秋田県)へ 桑原副会長出席
- 43. 平成29年10月13日 健康寿命延伸フォーラムに関する打合せ会へ 小柳事務局長出席
- 44. 平成29年10月21日 第6回理事会
- 45. 平成29年10月22日 日臨技認定救急検査技師 試験 WGへ 坂西副会長出席
- 46. 平成29年10月25日 第34回がん征圧新潟県大会へ 坂西副会長出席
- 47. 平成29年10月27日 第2回精度管理委員会
- 48. 平成29年10月28日 H29年度新潟県医師会設立記念大会へ 渡邊会長出席
- 49. 平成29年10月29日 第3回精度管理委員会
- 50. 平成29年11月11日 11月常任理事会
- 51. 平成29年11月14日 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ 畔上理事、五十嵐理事出席
- 52. 平成29年11月25日 全国検査と健康展を開催
- 53. 平成29年11月26日 第4回精度管理委員会
- 54. 平成29年11月29日 平成29年度新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会 渡邊会長出 度
- 55. 平成29年12月2日 第7回理事会
- 56. 平成29年12月8日~10日 医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会へ 桑原副会長 出席
- 57. 平成29年12月16日 第3回会誌編集委員会開催
- 58. 平成29年12月17日 第91回新潟県臨床検査学会
- 59. 平成29年12月17日 第5回精度管理委員会
- 60. 平成30年1月12日~14日 地域ニューリーダー育成研修会へ 五十嵐理事出席
- 61. 平成30年1月13日 第8回理事会
- 62. 平成30年1月15日 関連団体挨拶回りへ 渡邊会長、小柳事務局長出席
- 63. 平成30年1月20日 宮城県臨床検査技師会創立75周年・法人化30周年記念式典・祝賀会へ 桑原副会長 出席
- 64. 平成30年1月20日 日臨技救急認定試験 WG へ 坂西副会長出席
- 65. 平成30年1月26日 新潟県臨床検査精度管理協議会へ 坂西副会長、草間理事出席
- 66. 平成30年1月27日 平成29年度新臨技災害対策研修会を開催
- 67. 平成30年2月17日 新潟支部総会へ 桑原副会長出席
- 68. 平成30年2月23日 平成29年度第2回北日本支部幹事会へ 渡邊会長出席
- 69. 平成30年2月24日 上越支部総会へ 桑原副会長出席
- 70. 平成30年2月25日 第9回理事会
- 71. 平成30年3月1日 平成29年度臨床検査精度管理調査検討会に坂西副会長、草間理事、清水理事出席
- 72. 平成30年3月3日 平成29年度下越支部総会に桑原副会長出席
- 73. 平成30年3月7日 新潟医療技術専門学校卒業式に桑原副会長出席
- 74. 平成30年3月14日 北里大学保健衛生専門学院卒業式に坂西副会長出席
- 75. 平成30年3月15日 新潟医療福祉大学卒業式に渡邊会長出席
- 76. 平成30年3月17日 第10回理事会
- 77. 平成30年3月23日 新潟大学医学部保健学科卒業式に阿部副会長出席
- 78. 平成30年3月24日 日臨技出版 WG に坂西副会長出席

事業報告に関わる附属明細書

事業報告を補足する事項はない。